

岩手医科大学で呼吸器外科専門医を目指す方々へ

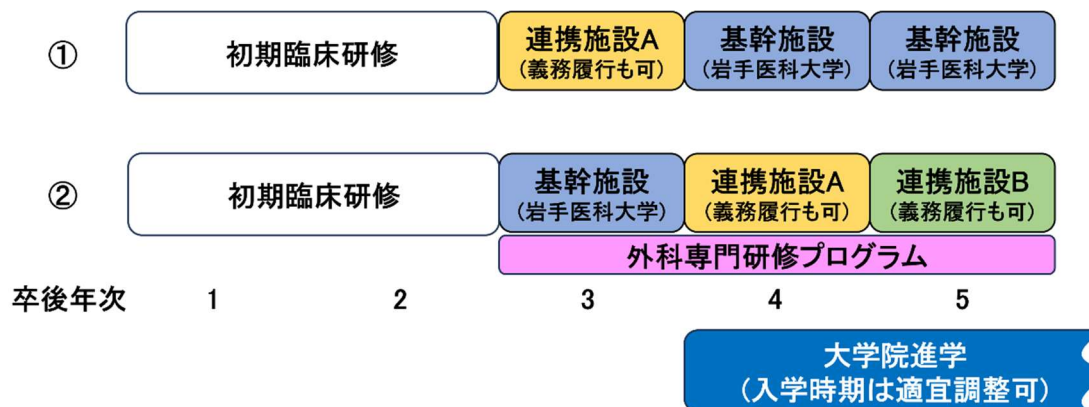
ここでは、専攻医を経て外科専門医、呼吸器外科専門医を取得するまでの道のりについて説明致します。

呼吸器外科専門医取得のためには、まず外科専門医を取得する必要があります。

外科専門医取得のためには、外科専攻医として日本専門医機構に承認された外科専門研修プログラムに属し修練を積む必要があります。

岩手医科大学には、「岩手医科大学外科専門研修プログラム」が準備されておりますので、こちらのプログラムへ登録していただきます。基幹施設・連携施設共に、3年間のうち最低6ヶ月の研修期間が必要となります。将来的に呼吸器外科を目指す先生に対しては、診療科として呼吸器外科を標榜している施設での修練を優先致しますが、外科専門医取得のために必要な消化器・心臓血管・小児・乳腺外科領域の症例を学ぶ貴重な期間ですので、症例数に応じて偏り、不公平が無いよう十分配慮致します。また、奨学生の先生に対しては岩手県医療局等とも連携し、義務履行も同時に行うことができるプログラムを準備致します。

下記にプログラムの一例を示します。



①、②共に連携施設 A では消化器外科疾患を中心に外科専門医取得のための修練を中心に行います。その後は呼吸器外科疾患を中心とした修練の為に基幹施設での研修を基本としますが、奨学生においては、連携施設 A は勿論のこと、呼吸器外科手術を行っている連携施設 B での研修も義務履行期間に含めることが可能です。

(岩手医科大学外科専門研修プログラムに準じて行います。詳細は、岩手医科大学附属病院医師卒後臨床研修センター HP(<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/resident/wp-content/uploads/2019/12/89d33efd1a49f4c153f73902c8cf1a37.pdf>)をご参照下さい。)

3年間の外科研修を行い、別途定められているプログラム終了要件をすべて満たした場合、最短で卒後6年目に外科専門医試験を受験することが可能となります。

その後は、呼吸器外科専門医取得へ向けて修練を行います。奨学生の先生は、義務履行を行

いながら呼吸器外科の修練を積むことも可能です。

当科では、大学院進学による博士号の取得も積極的に支援致します。

岩手医科大学大学院・医学研究科には、社会人大学院制度もあり専門研修期間に同時に大学院へ属することも可能となっております。しかし、大学院博士課程においては定められた研究専任期間が必要である一方で、日本専門医機構により承認された外科専門研修プログラムにおいては、「3年の研修期間のうち研究専任期間が6ヶ月を超える場合は修了時に未修了扱いとする」とされています。その為大学院入学の具体的な時期については、個別にご相談下さい。ライフプランも加味した、あなたの為のプログラムを共に作り上げていきましょう！

質問、病院見学の相談等は、下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

重枝 弥 shigeeda@iwate-med.ac.jp

吉村 竜一 r-yoshimura0907@outlook.jp